



海岸は今 | 春の訪れ。オンシーズン到来

春は周期的に低気圧が通過し、海が荒れることが多い季節。海が荒れた後の鎌倉市や逗子市などの海岸には海藻が大量にあがるが増えてきました。

この海藻の中かなりの量の人工ごみが混じっています。お菓子などの包

装やプラスチック製品の欠片など、細かいごみが海藻の間に入り込んでいるため、これを除去するのにかなりの労力が費やされます。

こうして人工ごみを除去した海藻は、支障がない場所と時期には海岸に存置

し、脱水・乾燥させて体積を少なくしてから埋却処理や焼却処理を行う手法を試みています。

冬の間、静かだった海岸にも、海藻とともに、人の姿も増えてきました。オンシーズンが始まります。

三浦市菊名海岸に注射針が捨てられていました

三浦市菊名海岸沿いの遊歩道の片隅にごみが捨てられているので、確認してみると、弁当などのごみに混じって、なんと注射針が大量に捨てられていました。

すぐに現場から神奈川県横須賀土木事務所と警察に連絡し、中身を確認すると、注射器は3種類あ

り、2種類は未使用、1種類は使用済みの状態で、合計で約300本にもなりました。一度にこれだけの量が捨てられているのは珍しいケースです。

注射器は警察によって回収され、三浦市で処理されました。



アイクルフェアに出展

3月21日に、横須賀市リサイクルプラザで開催された『第50回アイクルフェア』に出展しました。これは年に3回行われるリサイクルをテーマにした横須賀市の一大イベントで、毎回、安価で購入できる再生家具即売会などが人気です。

この会場の一角に美化財団も出展し、海岸美化を呼び掛けてきました。展示された啓発パネルに、多くの人が足を止めて見入っていました。